

Children's University Kawago
子ども大学かわごえ

CUK だより

第 64 号 NO.150717
平成 27 年 7 月 17 日

子ども大学かわごえ 第 8 期平成 27 年度入学式

平成 27 年度入学式が東京国際大学第 1 キャンパス教室で実施されました。新入学生は川越内外の小学校 4～6 年生 184 人でした。遠藤克弥子ども大学かわごえ学長が新入生歓迎のあいさつをした後、来賓の川合善明川越市長、浅子藤郎鶴ヶ島市教育長、尚美学園大学松田義幸理事長らのあいさつがあり、日々の生活の中で『なぜ』『どうして』と思うことがよくありますが、仕事の忙しさにかまけてそのままにしています。しかし皆さんは納得のいくまで追及してくださいとアドバイスをされました。その後川越ジュニアコーラスの合唱があり、全員で子ども大学かわごえの校歌を合唱しました。



午後 2 時から第 8 期 第 1 回目の授業が子ども大学かわごえ遠藤学長により実施されました。タイトルは『子ども？教育・学校』です。講義は遠藤学長の子ども時代の話で始まりました。

先生は福島の山の中の分校、6 学年までいて 6 クラスしかない学校の出身です。東京に出て、慶応大学やアメリカの大学院や ICU の大学院で勉強して、ここの大学に 27 年間務めて今副学長をやっています。

「ここから遠藤先生の話し言葉になります」。

ところで学生諸君に聞きましょう。「きみは、なにものだ！」、子ども？大人？どっち？きみたちは子ども、私は大人。どう違うのだろうか？手元の字引を引いてみよう。

- ・大人と違う人
- ・大人に対して子どもを指す

と書いてあります。つまらない字引だね。こういう字引は買うんじゃないよ。こっちの方がいいかな。

- ①年のいかない幼い者・・・児童、小児、わらべ、わらんべ
- ②親がもうけた子・・・むすこ、むすめ
- ④行動が幼く、思慮が足りないもの
- ⑤小間使いにされた少女・・・などね。



中世と言われる時代、西暦 1500 年くらいまで、大人と子どもの差はなかったんだよ。子どもはいなかったんだ。君たちはいなかったんだ。中世では、次頁の写真を見ると分かるように、子どもは顔も服装も大人

と一緒に、半ズボンや子どもの服って無い。7~8歳くらいから大人と一緒にお酒を飲んでいる。5歳くらいまで子どもは動物扱いをされたり、おもちゃの道具にされたりして、動くとうるさいので縛ったり、木製歩行器のようなものに入れられた。

1960年になって、アリエスという人が「子どもの誕生」という本を書いて、「子どもが発見」された。愛すべき小便小僧（石像の写真）も出来ました。

ところで、実は日本の方がヨーロッパよりずっと子どもに優しい社会が早くから出来ていたんです。日本では7歳までは子どもは神様だって言われました。江戸時代の風景を見ると、女の子はままごと、あやとり、歌かるた、ほたるがり、道中すごろく、折り紙などで遊んだ。男の子は虫取り、蛾取り、毛虫取り、将棋や水鉄砲をやっている。夕方になるとコウモリが飛ぶのでコウモリ狩りをして遊んだ。



明治時代にエドワード・S・モースという人が海外から来て、「私は日本が子どもの天国であることをくりかえさざるを得ない。世界中で日本ほど、子供が親切に取り扱われ、そして子供のために深い注意が払われる国は無い。ニコニコしている所から判断すると、子供達は朝から晩まで幸福であるらしい」と書いています。イギリスの女性旅行家イザベラ・バードも、日本で子ども達が、大人に可愛がられて、大変面白そうにしていると書いています。



2時間目に、ネパールの学校のビデオを見ました。子どもたちは朝仕事をしてから学校へ行って、一度家へ帰って仕事をして、もう一回学校へ来ます。夜も仕事をします。

ところで、みなさんは勉強好き？勉強好きな人は手を挙げて！勉強の「勉」ってどういう字？“つとめる”。“強”と一緒にすると強制されて勉めるという意味になる。それなら勉強より「学習」の方がいいんじゃないかな。学習だと何となく自主性があるといいと先生は思うのだけど。ところで日本でいつごろから「勉強」という言葉が出てきたのか調べてみたけれどなかなか見つからない。「教育」という言葉は、江戸時代になって「トキワバンモク」という人の本に初めて出てきます。それより前にさかのぼると、紀元前5世紀の孟子っていう人が書いた「孟子」という本の中に「天下の英才を得て、これを教育す」ということが出てきます。さらに調べてみると、みんなの得意な外国語、5年生からもう英語やってるでしょ？みんな得意なイングリッシュと比べてみよう。英語やドイツ語からずーっと調べてみるとギリシャ時代にたどり着いてしまった。孟子がいた紀元前5世紀に「子どもをパイディア（教育）する」という言葉が見つかった。



ところでみんなこの字を見て不思議に思わない？「教え」と「育てる」というふたつの漢字がなんでひとつになっちゃったんだ。なんで「教育」っていう二字が必要なの？「教える」ではだめ？「育てる」でもダメ？考えれば、「教える」だとただ勉強を教えて終わり。「育てる」だと育てて終わり。だけど、この二つの言葉をくっつけると、支援する人とか教わろうとする人だとか、教わろうとする気持ち、自分の子どもをより「善く」育てたい気持ちが、ふたつの漢字をくっつけてしまったのではないかと考えます。

みんな、子ども時代が出来て、子ども時代が発見されて良かったね？良かったと思う人。子ども時代が出来て良かったという今の気持ちを大切にしよう。さっきのネパールの子どもは自由に学ぼうと思っても、朝働かないと学校にやってもらえない。そういう国が今の同じ時期にあるのだよ。それをよく認識しなければならない。ところで、子ども時代を壊した物がひとつあるんだよ。何だろう？正解はひとつだけじゃない。ゲーム？うーん、近い近い。テレビ！！この世の中にテレビが現れてしまって、同じ物、同じ現象を子どもと大人が目にするようになってしまった。その瞬間からもう一回子ども時代とはどうあるべきか、振り返らなくちゃいけなくなった。ゲーム、映画、ビデオ、これが悪いかどうか結論が出ていないけれど、よく考える必要がある。

質問！ゲームの好きな人？先生は何でも好きになっていいと思うんだ。「親指文化」がアメリカから輸入された。 아이폰、携帯電話などは、親指だけ動かしても頭には元気を与えないから、ダメだという意見がある。アメリカの学者が「ファミコンシンドローム」と言った。こういう物は本当はアメリカから輸出してはダメだと思うのだけれど、本当に悪いという証拠がない、まだはっきりした結果が出てない。しかしどうしてもやるんなら、一生懸命やってください。



現在では秋田県の秋田方法で子どもが一番よく遊ぶんだそうです。一生懸命外に出て遊ぶことがみんなの頭を活性化させます。いろんな難しいものを聞いてみたり、読んでみたりして、自分の脳を活性化することになります。

先生は中学2年生になるまでテレビがありませんでした。だから子ども時代を満喫しましたよ。夜はよく寝ました。毎日、お父さんの話を聞いたり、お母さんの話を聞いたり、きょうだいケンカをしたり、という暮らしをずっと続けました。ひとつだけ大好きになったことがあります。英語です。僕は山の学校なので、幼稚園も保育園も出てません。そうしたらお姉さんが中学生になって英語の教科書を持って来ました。これは衝撃的でした。先生にとっては。何これ？って姉に聞いたら「これは英語だ」って。「言葉だよ。」言葉？日本語話してるじゃない？「アメリカやイギリスで話している言葉だよ。」行きたいなー！って思いましたよ。絶対アメリカに行ってやろう、って思って英語を勉強しました。だから英語はいつも5でしたけれども、他は全部2でした。大学院に行く時にドイツ語をやらなくちゃいけない。で、ドイツ語もやった。ドイツ語も好きになった。

だから最初は空腹の方がいい。空腹の方が、腹いっぱい食べてみたいと思うことで学習が面白くなるかなって思います。子ども時代が満喫できるんじゃないかなって、楽しめるんじゃないかなって思います。みなさん時代の産物である「子ども時代」を大事にして生きていってください。

編集 子ども大学かわごえ事務局

子ども大学かわごえ

学長 遠藤克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川越市霞ヶ関北 3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991 (事務局直通)

FAX 049-233-1640F

E_MAIL info@cuk.or.jp